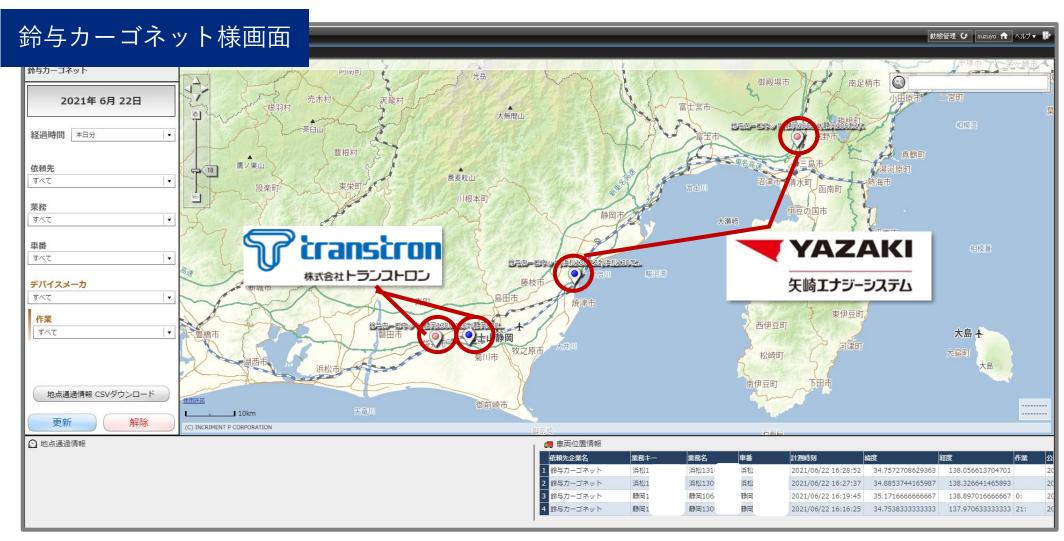
異なる車載機器の一元表示例



プラットフォーム内の異なるデバイスを同一動態管理で表示

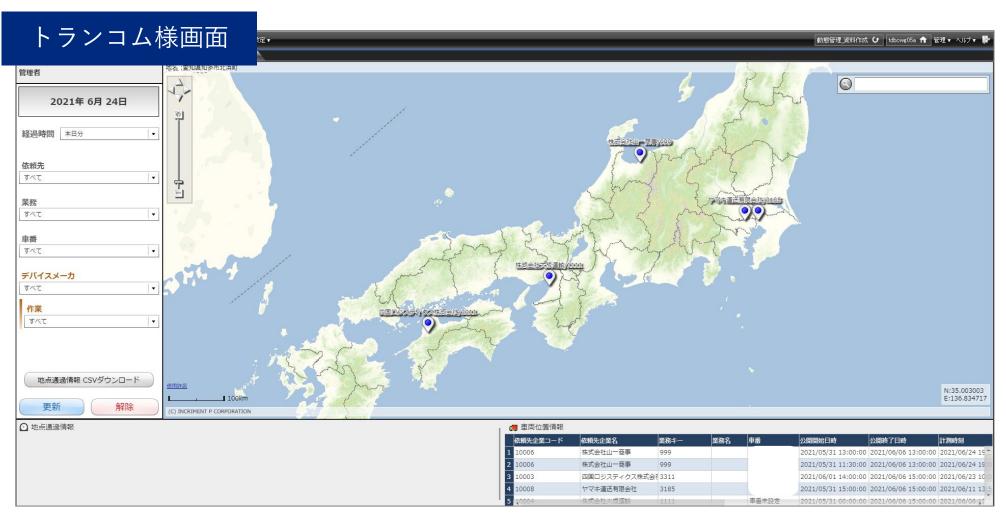


ご協力:鈴与カーゴネット株式会社様

事業者間の情報共有例



車両公開依頼主の画面に協力会社の車両を表示



ご協力:トランコム株式会社様

TDBCによるtraevoプラットフォーム普及支援

WG05「動態管理プラットフォームの情報資産を活用した新たな価値創造」

荷主・運輸事業者・流通業の業務効率化

サプライチェーン全体の最適化

- ◆情報資産の活用と社会貢献
 - ◆ドラレコとの連携による警察への協力
 - ◆CO2排出量の算出・可視化
 - ◆異業種荷主間での共同配送
 - ◆災害発生時の自治体協力など



動態管理プラットフォームの「**位置情報×ドラレコ映像**」による社会貢献

車両の位置情報とドラレコ映像を連携して警察への防犯協力

事件・事故の発生した時間・場所

貨物車両の位置情報



ドラレコ映像を提供

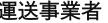
問い合わせ



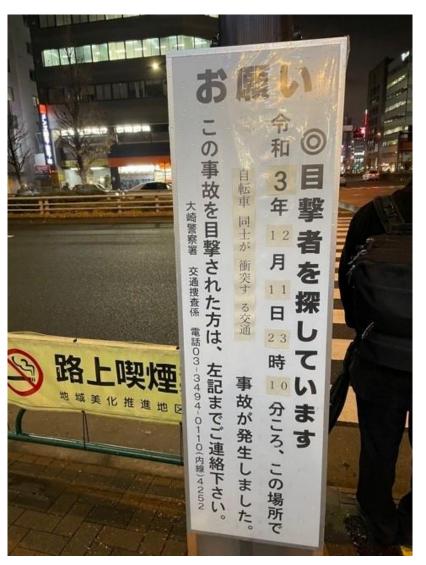
付近を走行してい た該当車両を特定、 協力依頼



運送事業者



ひき逃げ等事件・事故の早期解決に貢献



本PFを活用して社会インフラを提供 (環境への価値提供)

動態管理プラットフォームを活用した「CO2排出量可視化と改善」の仕組み

2021年度の取組

Phase 1:動態管理プラットフォームを活用し、車両情報と走行距離 を正確に把握する仕組みを構築する。

Phase 2: Phase 1情報と積卸情報を組み合わせ、情報と積卸情報を組み合わせたCO2排出量計算の優位性について実験・検討する。

2022年度の取組

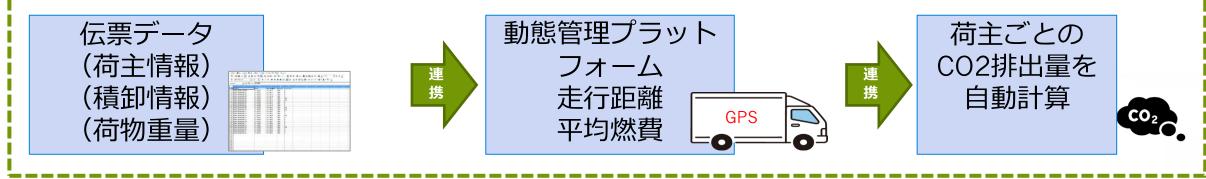
Phase 3: Phase 2の結果を元に伝票データと連携させ、CO2排出量を 自動的に把握する仕組みを構築する。

Phase 4: CO2排出量を削減するため、積載効率改善、エコドライブの実践、走行ルートの見直し等を促す仕組みと連携する。



各フェーズの仕組みを構築し、実証実験を実施する

Phase 3: Phase 2の結果を元に伝票データと連携させ、荷主別の CO2排出量を自動で把握する仕組みを構築し可視化実 証実験の募集と実施



Phase 4: CO2排出量を削減するため、積載効率改善、エコドライブの実践、走行ルートの見直し等を促す仕組みと連携した実証実験の募集と実施

【配車システム・エコドライブ支援・走行ルート改善】